資生堂、「PRIDE 指標 2026」にて「レインボー認定」を 3 年連続獲得

最高評価「ゴールド」は通算 5 回目の受賞

株式会社資生堂および資生堂ジャパン株式会社は、一般社団法人 work with Pride※1 が策定した、「PRIDE 指標※2」において、「レインボー認定※3」を獲得しました。また、国内資生堂グループ 8 社※4 が、同指標における最高評価の「ゴールド」を受賞しました。

株式会社資生堂としては、「レインボー認定」の獲得は 3 年連続※6、「ゴールド」の受賞は通算 5 回目※5 です。

「PRIDE 指標」は、日本での職場における LGBTQ+など性的マイノリティ（以下、LGBTQ+）に関する企業・団体の取り組みを評価する指標です。「レインボー認定」は、「ゴールド」を受賞した企業・団体の中から、LGBTQ+当事者が自分らしく働ける職場・社会づくりの実現に向けて、セクターを超えた協働を推進する企業・団体に授与されるものです。

2026 年 6 月には、資生堂グループの株式会社イプサおよび株式会社ザ・ギンザの経営トップが社内啓発イベント「Diversity Week for LGBTQ+」に登壇し、LGBTQ+当事者の声を事業や顧客体験に活かすための意見交換を行いました。こうした社内での啓発活動に加え、社外においても、2025 年には、トランスジェンダー女性およびノンバイナリーの方々に向けた「自分らしさを彩るメイクアップガイド※7」を発信したほか、当事者団体との協働によるメイクアップ講座を開催しました。また、Tokyo Pride 2026 での 2,000 名超への美容体験の提供など、社外パートナーとの連携を通じたインクルーシブな価値創出を推進しました。こうしたセクターを超えた協働と実践的な支援活動が評価され、「レインボー認定」の獲得につながりました。





ダイバーシティ・エクイティ＆インクルージョン（DE＆I）は、資生堂の企業使命である「BEAUTY INNOVATIONS FOR A BETTER WORLD（美の力でよりよい世界を）」を実現するための重要な取り組みです。私たちは、ジェンダー、年齢、国籍、性的指向、性自認、障がいの有無などに関係なく、個々の違いを認め、尊重し合うことで、多様な視点を活かし、イノベーションを生み出す組織文化を育んでいます。

これからも社内外の LGBTQ+コミュニティとアライに寄り添う企業として最大限の支援を提供し、誰もが自分らしく生きることができる社会の実現を目指しています。

主な取り組み

＜社会に向けた取り組み＞

- 2020 年、婚姻の平等（同性婚の法制化）キャンペーン「Business for Marriage Equality※8」に賛同を表明。
- 2025 年 6 月、資生堂ビューティークリエイションセンターは、誰もがより「自分らしさ」を表現できる手段として、当事者の方々と共に、トランスジェンダー女性およびノンバイナリーの人々の悩みに寄り添ったメイク技術「自分らしさを彩るメイクアップガイド※7」を独自に開発し、資生堂企業サイトに公開。あわせて、資生堂ジャパンの専門職による「自分らしさを彩るメイクアップ講座」を開催。
- 2026 年、美容職を対象に継続してきた LGBTQ+応対研修の内容を刷新し、LGBTQ+当事者のお客さまにも安心して来店いただけるよう、店頭での実践を想定したケーススタディーを強化。

＜社内の取り組み＞

- 資生堂グループで働く一人ひとりがとるべき行動を定めた「資生堂倫理行動基準※9」において、職場における「多様性の尊重・差別の禁止」を明記し、性的指向・性自認による差別やハラスメントを行わないことを規定。
- 日本国内では 2017 年に就業規則を改訂し、特別休暇、介護制度、育児制度などの福利厚生利用対象に同性パートナーを含めるよう拡大。
- 当事者社員の体験談や外部有識者を招いたトークセッションなど、当事者を取り巻く現状について社員一人ひとりが考える機会となる社内イベントを従業員リソースグループ「ColorFulls」が主体となって開催。2026 年 6 月には、資生堂グループの株式会社イプサおよび株式会社ザ・ギンザの経営トップが社内啓発イベント「Diversity Week for LGBTQ+」に登壇し、LGBTQ+当事者の声を事業や顧客体験に活かすための意見交換を実施。

活動の詳細はこちら：資生堂のサスティナビリティ 社会
https://corp.shiseido.com/jp/sustainability/society/

※1 企業などの団体におけるLGBTQ+に関するダイバーシティ・マネジメントの促進と定着を支援する団体。URL: https://workwithpride.jp/

※2 2016年に「work with Pride」が策定した、日本初の職場におけるLGBTQ+に関する取り組みの評価指標。PRIDEの各文字に合わせた5つの指標の総合点に応じて、ゴールド、シルバー、ブロンズの3段階で評価・表彰される。

1. Policy（行動宣言）/2. Representation（当事者コミュニティ）/3. Inspiration（啓発活動）/4. Development（人事制度・プログラム）/

5. Engagement/Empowerment（社会貢献・渉外活動）

URL: https://workwithpride.jp/pride-i/

※3 最高位の「ゴールド認定」を受けた企業の中から、国や自治体、学術機関、NPO/NGOなどとの、セクターを超えた協働を推進する企業・団体を評価する評価指標。

※4 株式会社資生堂、資生堂ジャパン株式会社、株式会社エフェクティム、株式会社ザ・ギンザ、KODOMOLOGY株式会社、資生堂アステック株式会社、花椿ファクトリー株式会社、株式会社イプサ

※5 2017年、2022 年、2024年、2025年に続き 5 回目。資生堂ジャパン株式会社としての「ゴールド」の受賞は2024年、2025年に続き3回目。株式会社エフェクティム、株式会社ザ・ギンザ、KODOMOLOGY株式会社、資生堂アステック株式会社、花椿ファクトリー株式会社の「ゴールド」の受賞は2025年に続き2回目。株式会社イプサの「ゴールド」は初受賞。

※6 株式会社資生堂および資生堂ジャパン株式会社としての「レインボー認定」は、2024年、2025年に続き3回目。

※7 資生堂が当事者団体の協力を得て独自に開発したメイクアップ技術URL: https://corp.shiseido.com/jp/sustainability/power-of-beauty/pdf/guide.pdf

※8 婚姻の平等に賛同する企業を可視化するためのキャンペーン。 URL: https://bformarriageequality.net/

※9 URL: https://corp.shiseido.com/jp/company/standards/pdf/standard_jpn.pdf